

令和 6 年度

社会福祉法人 清風会

グループホーム みさと

事業経過報告書

1.重点目標実績報告

【 令和6年度 重点目標 】

- ① 入所されて年月を経られ 身体レベルの低下や 認知症の症状も進み 介護量も増しつつある。これまでに関った中で得られた 本人の思いや 喜び・出来ていたことを続けられるように支援し 最後まで本人らしい生活ができるように支える。
- ② 毎日の屋外散歩や 新聞を読む時間、塗り絵作業、今は定着している100歳体操で日々繰り返しの日常生活が継続できるように 必要な声掛けや準備で支援を行う。
- ③ 身体拘束の適正化に向けた適正な支援「虐待防止」「権利擁護」を基本に高齢者の「尊厳」を支える支援を継続していく。
- ④ 事故防止を行うために、日常の中で発生する、ヒヤリハットや事故報告事例を検証して 職員で情報を共有し事故対策の実行・振り返り 再実行を継続して、事故防止を行っていく。

(結果)

- ① ②令和6年度も感染予防を行い外出・希望からの面会や家族同伴の外出・外泊の機会が持てた。

日常的な体操や、希望するキッチン作業や、洗濯物干し・衣類乾燥後の作業を職員のサポートで実践し取り組む事ができた。

作業の中では、洗った茶碗と、ゆすいだ茶碗の区別ができない場面や、乾燥できていない衣類を持ち込む場面もあり、職員がサポートしつつ実践する必要があったが、「活躍の場」「やらせて」を実践していただき作業に取り組む事ができた。

屋外散歩が日課となっており、杖歩行で屋外へ出られ、景色を眺めたり、草花を摘んだり、草取り作業をされたりと、日々の日課として繰り返し出来ることで、身体機能の維持、安らぎの時間を過ごす事が続けられた。

認知症の症状から、どの方も、不穏・不安が観られ、一人の方が、自宅に帰りたいと希望されると、複数の方が、同じ気持ちになり、連鎖した症状もあり、落ち着かない状態となる方もおられ、その時々で、徘徊への付き添い、欲求時に、一緒に自宅へ出向きポストの郵便物の確認や、自宅前の石垣の草むしり作業の外出を試みた。

過去、帰宅欲求の実現のために、ご家族協力のもと、自宅へ外出する機会を持つことができた時の、本人の喜んだ様子や、自宅へ帰った時の記憶を思い出して頂き、ご家族と関わった時の出来事を、想起していただく、対話を試みることで、家族から家に向かい入れてもらって、案内してもらった状況や、家族の事情を思い出して状況を再認識する事で、落ち着かれる場面も見られた。

また、夕食後の日常的な、歯磨き作業、着替え作業などの日課を、声掛けしながら、自分でやっていただく事、必要な支援を実施する事で、その場(施設)に落ち着く気持ちに移行でき、精神安定につながる支援を行う事ができた。

新聞に目を通す事や、塗り絵作業等の支援で、集中される場面も日課となり、活字を見ること、情報を知り、情報に気持ちを向けること、塗り絵作業の完成品を眺め、相手の方の、作品の出来を評価される場面、掲示するように指示する場面ができ、利用者の支えあい、落ち着き、交流、優しい思いやりの言葉かけの等があり、和やかな雰囲気となるに場面を、支援を続けていく事で、深い交流や、穏やかな場が持てた。

③「身体拘束等の適正化」推進に向け、3ヶ月に1回また随時必要時に検討を行い支援に努めた。

※虐待防止(高齢者権利擁護)研修で、高齢者の権利擁護について学んだ

令和6年度は、個室の中の事故防止が必要となる(離床センサー利用事例)ケースが3事例あった。

・事例1: 圧迫骨折・蜂窩織炎・発熱から、ADL低下、下肢筋力低下で、個室の中の事故発生が、心配され、ご家族了承を得て、ベットサイド床に離床センサーを設置し、利用者が離床された際に、希望する排泄、着替え、起床の支援を実施した事例

・事例2: 昼夜の帰宅欲求や不穏で動きが多く、それに伴う下肢痛の増大で個室内での転倒事故の可能性が高くなり、ご家族に相談し事故防止の為に、ベットサイド床に離床センサーマットを設置して、チャイム作動時は、入所者の必要とする失禁、衣類、寝具、パット等の交換やトイレ誘導や見守りなどの支援を実施した。

・事例3: 個室内の転倒事故で、頭部の怪我から、5、6針縫合の必要となる事故、受診後、観察中にフラツキの指摘があり、二次的な事故発生の可能性もあり、ベットサイド床に離床センサーマットを設置し、起き上がった際には、見守りや、誘導支援を実施して、事故防止を行った。幸い時間経過後、事故発生もなく、当日には離床センサーの必要性もないと判断し解除することができた。

グレーゾーンと指摘、問われる離床センサーを、適正に生活支援に活用し、適正化委員会で随時必要性や、適正な使用について検討した。

事例1の方は、現在入院中で介護度も増し特養への、移動検討の状況となっている。

・行方不明事故事例があり、その後、職員の過剰反応から、利用者が屋外へ出られないように、玄関ドアの施錠行為が事故発生直後にみられ、注意喚起した。さらに身体拘束適正化委員会にて、注意喚起し襟を正した事例もあった。

【令和6年度 身体拘束適正化委員会開催状況】

年月日		内 容
令和6年	4/28	(スピーチロック、言葉での身体拘束等の対応について) ・新規入所者の身体拘束適正化支援・帰宅欲求、不穏の身体拘束適正化支援について
	6/30/ 7/25	※虐待防止(高齢者権利擁護)研修 身体拘束廃止研修ビデオ研修 鳥海先生の「新・始めの一步～身体拘束ゼロの真の意味」
	8/30	・言葉での身体拘束 屋外散歩が日課となる利用者事故発生後職員の過剰事故防止策となる、玄関施錠化が観られ、身体拘束となる対応につき修正し周知図る ・蜂窩織炎、発熱等でADLレベルが低下。個室で過ごす際の事故防止でベットサイドに離床センサーを設置して、起きた時の必要な支援を実施するために利用開始。センサーの適正利用について検討する
	9/30	・8月センサー利用開始後、代替えの環境整備・ポータブルトイレの使用・ADL回復傾向から離床センサーを解除して支援を実施し状況の確認と周知
	10/31	高齢者虐待防止の基本資料文書にて内容周知
	12/31	・圧迫骨折者・下肢痛、不穏等の事故対策から離床センサーを使用している。 離床センサー活用の適正な活用を図るよう周知。 ・転倒事故後の一時的なフラツキ状況に対応し事故防止を図るために、個室ベットサイドに離床センサーを設置して、起床時の見守り、必要な支援を開始する。時間経過後に回復認められ、当日センサー利用解除実施の件。
令和7年	1/30	高齢者虐待防止に関する指針の周知
	2/28	離床センサー活用者の事故発生に伴う適正な使用方法と離床センサー必要性の検討
	3/30	離床センサー活用者の事故発生に伴う適正な使用方法と必要性の検討

④ 事故報告で、夏場の行方不明者発生と、大きな転倒事故の2事例あり、119番通報し対応を要請する事例も発生した。また、ご家族同伴外出者に、他の利用者も同伴外出許可を出してしまった事故報告も発生し、職員が捜索すると、鍵のかかった自宅前で過ごしているのを発見した事例も有った。報告事例を検証し、業務改善などの対策と、報連相の徹底で、今後の事故の再発防止に努めた。

【令和 6 年度 事故報告】

発生日		事故区分	発生場所	介護中の事故の有無
令和 6 年	4 / 3	転倒骨折	トイレ内	×
	4 / 13	転倒	個室内	×
	7 / 12	眼科指示ミス	風呂場	○
	8 / 9	行方不明	施設裏畑	×
	8 / 26	転倒	廊 下	×
	10/16	転倒	個室内	×
	10/31	転倒	個室内	×
	11/ 2	行方不明	(屋外)敷地外	×
	11/ 4	ヒヤリハット	個室	×
	11/7	転倒個室内	個室内	×
	12/19	転倒	フロア	×
	12/26	転倒	個室内	×
令和 7 年	1/4	転倒	個室内	×
	1/20	転倒	個室内	×
発生状況	13 件	内ヒヤリハット 1 事例	:個室 8 件 :トイレ 1 件 :風呂場 1 件 :廊下 1 件 :屋外 2 件	令和 6 年 4 / 3 事例: トイレ内、転倒骨折西郷病院入院経過後グループホーム復帰不可にて若宮荘入所となる。

【令和 6 年度 外出・行事状況】

期日	項目	内 容
4/8	季節感を回想	お釈迦様職員持参の甘茶で季節感を味わう
4/10	外出支援	枝垂れ桜・八重桜が満開、お茶おやつを頂き、公園の中の、野草の花摘み
4/13	家族の支援	妹さん迎えにて外出
4/16	外出支援	散髪・日向市細島葬儀場(プリエール)弟通夜参拝 職員対応
4/22	ドライブ	鯉のぼり 連立 見学 近隣地域 ドライブ
4/24	家族の支援	娘さん達が迎えに来られ外出
4/26	家族の支援	長女と自宅へ線香上げに帰る
5/3	外出支援	美容院へ外出支援
5/4	家族の支援	家族支援で自宅外出
5/5	ドライブ外出支援	ミニドライブ 町内散策
5/12	母の日	プレゼント贈呈でお祝いする
5/13	外出支援	美容室で髪カット さっぱりされる
5/24	家族の支援	ご家族同伴で自宅帰省
5/30	家族の支援	娘さん対応自宅帰省
6/9	家族の支援	自宅へ外出
6/13	父の日	父の日・花が届き、プレゼントでお祝い
7/1	七夕	願い事を考え書いて、竹に飾り付け。行い楽しんで頂く
7/6	花火 翌日雨天	美郷町三大祭り 前夜祭花火 屋外で見物 頭上の花火に歓声
7/10	家族の支援	外泊 ～12 日
8/3	外出支援	美容室 カット・毛染め 希望にて満足
9/1	外出支援	美容室で髪切りさっぱり
9/12	敬老誕生祝賀会	令和 6 年度 敬老祝賀会 及び 9 月の誕生会の開催
9/13	面会支援	職員付き添い 清翠園の姉に面会
9/14	家族の支援	峰区敬老会ご家族同伴にて参加
10/6	誕生会	98 歳の誕生日プレゼント贈呈でお祝いする
10/13	ドライブ外出支援	和田、若宮、立石、笹下ダム、下車見学で 解放感から喜ばれる
10/19	外出支援	散髪しさっぱり 喜ばれる
10/23	家族の支援	自宅外出 夫 13 年忌
11/10	外出支援	なじみの美容室 カット・毛染め
11/26	家族の支援	自宅帰省で満足
12/4	家族の支援	次女と外出
12/23	家族の支援	家族同伴で帰省
12/25	X スマス	プレゼントを準備し 喜んでいただいた。
12/28・29	外出支援	散髪でさっぱり 喜ばれる
12/31	家族の支援	正月帰省家族と過ごされる
1/1	家族の支援	正月帰省 1/1 ～3 日
1/2	正月外出	2 名正月帰省で喜ばれる
2/23	外出支援	美容室できれいにさっぱりされる
3/1	家族の支援	娘さん迎えにて自宅外出
3/3	ひな祭り回想	雛飾りで環境設定・寿司・雛あられで節句を感じていただく
3/13	外出支援	なじみの美容室で髪カットさっぱり
3/29	家族の支援	自宅外出し満足される

※地域行事も通常通り開催され、住み慣れた地元の祭り見学や、四季に合わせたドライブ、希望の美容室等への外出支援・ご家族の支援を受けて、安心した生活が送れる取り組みが出来た。

2.基本的な生活支援 実践事項

①【健康管理】

- ・主治医の定期的診察・随時必要な受診等で情報を提供し、医療と連携し健康管理を行った。
(食欲減退・低血圧状況・疼痛、血圧不安定・転倒リスクが高まっている状況・皮膚疾患・転倒事故等)
- ・定期的な体重測定・バイタル測定(記録)・食事摂取状況(記録)・排泄・睡眠等の日々の状態を把握し
必要時は相談しながら連携して健康管理を行った。
- ・予防接種・手洗い消毒、マスク着用で感染症の予防管理を行った。

令和6年度 健康診断

期 日	名 称	場 所	内 容
第1回：令和6年 6月18日	利用者健康診断	西郷病院	入所利用者全員 心電図検査 胸部X線検査 血液検査
第2回：令和7年 2月4日			

令和6年度 予防接種（インフルエンザ予防接種 コロナウイルスワクチン接種）

インフルエンザ予防接種	令和6年11月17日	全利用者・全職員
コロナウイルスワクチン接種	第7回 令和6年10月29日 8名 非希望者 1名	希望利用者8名 希望職員
※ 予防接種時はご家族の承諾を得ながら管理する。		

〈体重測定〉

期日 増減	4/21	5/17	6/23	7/28	8/25	9/22	10/20	11/24	12/22	1/10	2/23	3/23	計
変化無	4名	7名	6名	4名	5名	5名	3名	6名	4名	3名	4名	2名	106/53
増加1K未満	1名	1名	1名	1名	0	1名	1名	1名	2名	0	2名	0	106/11
増加1K以上 ～2K未満	0	0	0	1名	2名	1名	2名	1名	0	4名	3名	1名	106/15
増加2K以上 ～3K未満	0	0	0	1名	0	1名	0	0	0	0	0	0	106/2
増加3K以上	0名	0	0名	0	0	0	0	0	0	0	0	0	106/0
減少1K未満	3名	0	0	1名	1	0	1名	1名	2名	0	0	3名	106/12
減少1K以上	0名	0	2名	1名	1名	1名	2名	0	1名	2名 -1.5 -3.5	0	3名	106/13
計	8名	8名	9名	9名	9名	9名	9名	9名	9名	9名	9名	9名	106名

※令和6年度、半数の方々は体重変化がほとんどなく、過ごすことができた。増減を確認しながら医療報告が必要な方は、報告相談を行い、高栄養について病院医師を通して栄養士に提案していただき健康管理を実施した。

【抗原検査実施状況】

期 日	結 果
令和6年7月26日 抗原検査	利用者、職員 全員陰性 コロナ感染職員1名有り感染の有無を確認
令和6年7月28～30日抗原検査	利用者1名検査 陰性 外出
令和6年7月30日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 外出
令和6年7月31日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 発熱
令和6年8月1日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 外出
令和6年8月17日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 外出
令和6年8月18日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 外出
令和6年12月9日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 発熱
令和7年1月30日 抗原検査	利用者1名検査 陰性 外出

（令和6年度 入退院状況）

入 院 日	退 院 ・ 状 況	入院日数
R6年 4/3 転倒骨折	退院後、若宮荘入所（5月20日）	30日
R6年 11/29 圧迫骨折	12月12日 退院後施設へ戻る	14日
※ 入院者：令和6年度 2名		

令和6年度 退所者 入所者

退所	令和6年4月30日	女性	移動先	若宮荘
入所	令和6年5月7日	女性	入所前	居宅

令和6年度 入所者

区	南郷区	西郷区	北郷区	計
男性	0	1	0	1
女性	0	8	0	8
計	0	9	0	9

②【給 食】

- ・誕生会や敬老祝賀会などのイベント料理を楽しんで頂いた。
- ・食欲減退に伴う栄養食の提供に取り組み、健康維持に配慮した支援を試みながら取り組んだ。
- ・食中毒に注意を払い、洗浄・害虫駆除・環境消毒・器材消毒を徹底した。

【 令和 5 年度 検便 】※検便 月/1回

検 便	令和6年4月～ 令和7年3月至	登録衛生 検査所	全職員対象毎月検 査実施	赤痢菌 サルモネラ 腸管出血性大腸菌 O-157
--------	--------------------	-------------	-----------------	-----------------------------

③【排泄】

・利用者に合わせて介護用品を使用しながら、確認や交換支援を、個々の排泄時に合わせて実施し、気持ちよく生活できる支援に取り組んだ。

④【口腔ケア】

・歯磨きを実践できるように声掛け誘導、歯磨きの準備・指示・必要な義歯洗浄介助・ポリデント活用を個々の希望に応じて使用管理を行った。

⑤【入浴】

・入浴時の、事故防止を行いながら、必要な洗体介助でサポートしながらお風呂を楽しんで頂いた。職員の高齢化から、利用者を2グループに分けて、二日に一回の入浴支援を実施している状況となっている。湿疹などの皮膚疾患が発生されて方々は、毎日の入浴支援で皮膚トラブルの対応を図り軽減できた。

・身体不調を理由とした、入浴拒否のある方は、皮膚管理面で、支障が発生している情報を伝え、入浴に気持ちが向かうように、声掛けを行い、本人の意思決定の中での入浴支援をおこなった。

⑥【職員】

・利用者の希望に沿い、その時々状態に応じて、台所作業、掃除、洗濯物たたみ作業等の、必要なサポートや余暇時間の、散歩や塗り絵・新聞購読等の趣味活動をサポートし楽しんで頂いた。

・利用者の見守り、排泄介助、定期・急変時の医療機関への連絡、受診などの必要な対応で健康管理支援を行った。

・計画作成担当者は、中心となって利用者のケアプランを作成し、サービスの選定や関係者への連絡調整をおこなった。

・施設内研修や、外部研修で資質の向上に努めた、令和6年度は介護支援専門員受験者(10/13)、介護福祉士受験者各1名の受験者が、資格取得に取り組んだが、合格に至らず、再チャレンジに向けて意を強くしているところだ。

・自己評価や外部評価の取り組みを行い、施設サービスの評価改善の検討を行った。

・毎月の職員会議・2か月に1回の運営推進会議・各種会議を開催し課題の軽減、情報提供と共有、を図り事業運営に取り組んだ。

1.【職員研修】

期 日	内 容	対象職員
令和6年5月7日	介護福祉士 実務者研修	木村寿唯
令和6年6月1日	宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 総会・全体研修会	河埜貴志
令和6年6月16日	一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 総会・講習会	広瀬初子
令和6年7月20日	介護支援専門員 統一試験準備講習会	黒木和代
令和6年8月23日	高齢者施設等における感染症予防対策研修会	広瀬初子
令和6年10月13日	第27回 介護支援専門員試験	黒木和代
令和6年12月25日	宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 県北ブロック研修 身体拘束・高齢者虐待防止研修会	黒木和代 木村寿唯
令和7年1月26日	令和6年介護福祉士国家試験	木村寿唯
令和7年2月16日	介護支援専門員協会 研究大会	広瀬初子
令和7年2月17日	第2回在宅医療多職種研修会	広瀬初子
令和7年3月15日	宮崎県認知症高齢者グループホーム連絡協議会 総会・全体研修会	広瀬初子

2.【調査・相談業務】

令和6年 4月～	施設移動・退所相談・連絡事項 新規入所者相談・面談 入退院相談
令和7年 3月至	見学者対応 認定調査・区分変更 介護保険更新 予防接種期日相談

3.【個別計画】

- ・利用者の心身の状況、希望、おかれている環境を踏まえ協議の上、認知症対応型共同生活介護計画書を作成し管理した。
- ・振り返り(モニタリング)で必要なケアの検討を行い計画導入し支援を実践した。

4.【外部評価及び自己評価事業】

外部評価期日	内 容
令和6年12月11日	評価機関指導：宮崎県介護福祉士会 調査員2名 施設訪問調査実施 9/27 県介護福祉士会より外部評価事業契約書類等の送付あり契約実施・ 10/2 外部評価機関介護福祉士会よりアンケートを受け、ご家族へ送付し評価機関へ返送依頼の文書添付する・自己評価後 USB 情報入力後、評価機関へ送付作業の中で事業を実施する
令和7年2月12日	美郷町へ提出：地域密着型施設サービス評価事業に関する結果報告書

5.【令和6年度 運営推進会議】

令和6年 5月28日	・行事実績報告・入所者状況報告・事故報告と対策について ・行事企画について ・身体拘束適正化の取り組みについて	峰区公民館
7月23日	・行事企画案・行事実績報告・入所者状況報告 (健康管理等・対応状況・事故報告)・事故報告と対策について ・身体拘束適正化の取り組みについての報告	峰区公民館
9月19日	グループホームみさと「敬老祝賀会」 入所者9名 誕生者御家族 美郷町健康福祉課課長 地域包括職員 防災士 ご家族代表者 アトラクション・記念品贈呈 (舞踊クラブの皆さんの舞踊等を楽しみ敬老のお祝いを行う。)	グループホーム みさと
11月28日	地域合同 防災訓練実施(本部・運営推進員・ご家族・中村消防・職員) 避難誘導訓練・施設防災設備機器の情報報告・質問等への回答で充実した訓練となる。	グループホーム みさと
令和7年 1月24日	・行事実績報告・入所者状況報告・事故報告と対策について ・行事企画について ・身体拘束適正化の取り組みについて	峰区公民館
3月22日	・施設行事実績報告・行事企画について ・利用者状況報告(健康管理等・対応状況) ・外部評価・自己評価の報告	峰区公民館

6、【令和 6年度 職員会議・及び各種会議】

4 月 28 日	・行事企画・事故防止対策委員会 ・身体拘束適正化委員会 ・感染症対策委員会(ガウンテクニック)ゾーニングについて・ケア会議
5 月 31 日	6 月行事企画 事故防止対策委員会 ケア会議
6 月 30 日	・7月行事企画について・事故防止対策委員会 ・ケア会議 ・コロナ感染者発生時マニュアル検討周知 ゾーニング方法の周知・ ・第 1 回 虐待防止(高齢者権利擁護)研修(動画研修)
7 月 25 日	・8 月行事企画 ・事故防止対策委員会 ・ケア会議 ・第 2 回 虐待防止(高齢者権利擁護)委員会 ・備蓄品点検と賞味期限切れの確認補充について
8 月 30 日	・9 月行事企画 ・ケア会議 ・事故防止対策委員会 ・身体拘束適正化委員会 ・感染症対策委員会:高齢者施設等における感染症予防対策について資料研修及び復命
9 月 30 日	10 月行事企画 ・ケア会議 ・事故防止対策委員会 ・身体拘束適正化委員会 ・備蓄品補充見積もり品の確認、了解について
10 月 31 日	11 月行事企画 ・事故防止対策委員会 ・外部評価、自己評価事業の取り組み ・ケア会議 ・高齢者虐待防止の基本について資料に学ぶ
11 月 24 日	・12 月行事企画 ・自己評価の取り組み(理念の作成について)・ケア会議 ・感染対策委員会ガウンテクニック・事故防止対策委員会・合同訓練事項(11/26 予定)
12 月 31 日	・1 月行事企画 ・事故防止対策委員会 ・ケア会議 ・身体拘束適正化委員会 ・外部評価、自己評価事業について ・
令和7年 1 月 30 日	・2 月行事企画 ・事故防止対策委員会 ・ケア会議 ・高齢者虐待防止指針内容について学び周知を図る。・研修報告
2 月 28 日	・3 月行事企画・行事反省 ・事業計画案について ・事故防止対策委員会 ・外部評価、自己評価事業について・感染症対策委員会(吐物処理実習) ・ケア会議
3 月 30 日	・4月行事企画事項 事故防止対策委員会 ケア会議 ・身体拘束適正化委員会

7、【災害・緊急事項】

- ・ガウンテクニック・嘔吐物処理法の周知を図る為、動画研修と実技研修を行い訓練に取り組んだ
- ・BCP ゾーニングの方法につき、職員周知を BCP 計画書で確認した。
- ・備品のチェックと賞味期限の商品の交換を業者と見積調整を図って納品後に保管管理を行った。
- ・緊急時、災害時の訓練に取り組む対応方法を学んだ。
- ・地域住民・消防本部・運営推進員・中村消防との合同防災訓練を実施し、利用者の避難誘導訓練や、専門的な防災事項につき説明を受け、地域住民やご家族も、安全に配慮した施設環境であることを認識されて意義ある訓練が実施できた。

8.【令和6年度 防災管理事項】

期 日	名 称	場 所	内 容	備 考
4月22日	防災訓練	風呂場	火災を想定して消火活動避難誘導訓練を実施する。撥水訓練実施する	利用者 職員
4月28日	BCP訓練	フロア	ガウンテクニック 嘔吐物処理訓練	職員
4月23日	設備点検	GHみさと	消火器具 スプリンクラー 自動火災通報 設備・誘導灯・消防機関へ通報する火災 報知設備	中村消防
5月14日	防災訓練	風呂場	火災を想定して消火活動避難誘導訓練を実施する。撥水訓練実施する	利用者 職員
6月14日	防災訓練	調理場	火災を想定して消火活動避難誘導訓練を実施する。撥水訓練実施する 連絡網の確認	利用者 職員
6月30日	卓上研修		感染者発生時対応マニュアル確認・周知 ソーニング方の周知	
8月29日	台風10号		8/28～台風10号の被害状況把握・確認 22時過ぎより、風、雨が強く強風・大雨状況 8/29:14時頃まで続く。15時以降は長 崎熊本方面通過/被害なし 職員・利用者 も屋外で落ち葉の掃き掃除実施	職員
8月30日	防災訓練	風呂場	火災を想定して消火活動避難誘導訓練を実施する。撥水訓練実施する 連絡網の確認	利用者 職員
9月4日	備蓄品計画		備蓄食料品の計画書送付と見積もり依頼 中村消防より送付を受け	中村消防
10月3日	設備点検	GHみさと	消火器具 スプリンクラー 自動火災通報 設備・誘導灯・消防機関へ通報する火災 報知設備	中村消防 利用者
10月28日	防災訓練	風呂場	火災を想定して消火活動避難誘導訓練を実施する。撥水訓練実施する	利用者 職員
11月26日	合同防災訓練	火点風呂場	地域合同防災訓練	地域住民・利用者 ・美郷町消防本部・ 中村消防・家族 運営推進委員・職員
令和7年 1月21日	防災訓練	火点風呂場	発電機使用訓練 撥水訓練 避難誘導訓練	利用者 職員

9、【安全対策】

- ・事故防止の為、入所者の ADL 維持を支援し、身体レベルに適した平行バーの活用・夜間のポータブルトイレの使用・個室での離床センサーの活用などの安全な環境整備に心がけた。
- 離床センサーの活用時は、ご家族に相談了解を得て管理し、身体拘束適正化委員会にて、必要性の検討を行い、使用管理に努めた。
- ・事故対策委員会で事故報告・ヒヤリハットの事例を検証し、対策を図り支援した。
- ・配薬・服薬はダブルチェック体制をとり、服薬ミスが起こらないように確認することで、事故防止した。

⑦【環境管理・補充・整備】

期日	事項
4/10 9/2	ダスキン・・・屋外害虫駆除
5/23	水道の修理依頼、部品届き後修理
6/21	個室水道詰まり修理改善
7/30	タント車検
8/23	エアコン不良交換
9/10	甲斐輪業様、(パンク修理、車椅子)
9/30	水道、水漏れ箇所交換見積もり依頼
11/9	フロア水道設置
2/21	洗濯機故障交換搬入